

## 平成30年度 農業科 (ハイテク農芸科)

教科	農業	科目	グリーンライフ	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	「グリーンライフ」 (農文協)						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

地域資源の有用性や農林業の特色を理解し、まちづくりの担い手になるための基本的な知識と技術ならびに実践的な態度を身に付けるための科目です。身近な植物の観察等を通して地域資源の有用性に気付くとともに環境に関心を持ちましょう。また各自の圃場管理等を通して市民農園等の運営に必要な知識と技術を身に付けましょう。さらに地域の小学生や住民等との関わりを通してコミュニケーション能力を高めましょう。

## 2 学習の到達目標

- ・地域資源に関心を持つとともに適切な説明ができる。
- ・市民農園の管理計画を立案できる。
- ・地域連携活動を通してコミュニケーション能力を高める。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	農林業・農山村の特色および地域資源の役割や活用方法など、地域資源の現状や今日的課題について関心を持ち、農林業・農山村の特色、多面的機能と地域資源を活用して地域を活性化する意欲と態度を身に付けている。	農林業・農山村の特色、多面的機能と地域資源の有用性の理解を基盤に、実践的な学習を通してグリーンライフに対する思考を深め、地域の課題について適切に判断し表現する創造的な能力を身に付けている。	農林業・農山村の特色や地域資源を生かした生活体験を提供する活動に必要な技術を身に付けている。	農林業・農山村の特色や地域資源を生かした生活体験を提供する活動に必要な知識を習得するとともに、それらの有用性について理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 その他	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査 その他	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査 その他	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査 その他

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	グリーンライフの概要  地域資源の発見・保全・活用	農林業・農山村の魅力  身近な地域の資源	○	○			a: グリーンライフの概要および地域資源について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: グリーンライフの概要および地域資源について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: グリーンライフの概要および地域資源について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: グリーンライフの概要および地域資源について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート等 定期考査
2学期	地域資源の発見・保全・活用  グリーンライフ活動	身近な地域の資源  市民農園・観光農園	○	○		○	a: 地域資源およびグリーンライフ活動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 地域資源およびグリーンライフ活動について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: グリーンライフ活動における基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 地域資源について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート等 定期考査
3学期	農山村社会の変化と地域社会の再編	農山村と都市の現状と変化 農山村活性化のための政策	○		○	○	a: 農山村社会の変化と地域社会の再編について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 農山村社会の変化と地域社会の再編について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 農山村社会の変化と地域社会の再編について検討する基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 農山村社会の変化と地域社会の再編について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート等 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
c:技能      d:知識・理解

※ 原則として一つの単元で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。